

優秀賞

## 教えてもらった「宝物」

学校法人藤ノ花学園  
藤ノ花女子高等学校 3年 野村 雪乃

私は家族がいます。父と母、そして弟が二人の五人家族です。高校一年生の弟は自衛隊になるため、地元愛知を離れ遠い神奈川県の高校へ入学しました。もちろんいつでも会える訳ではなく帰省はお盆や正月などの休暇くらいです。また、高校の校則が厳しくスマートフォンを持つことも禁止されているため、連絡手段は向こうから公衆電話にかけてもらうか、手紙のやり取りのみです。

この夏休みに弟が帰ってきました。いつも苦しく辛い思いをしているからゆつくり休んでほしいと思っていました。しかし私はいくらなんでも母と喧嘩をしまい、弟には変な気を使わせてしまいました。母とは「譲らない」という頑固な性格が似ているため、昔から言い合いすることが多々ありました。また、私が思春期だということもあり、母に当たってしまう事がありました。

休暇が終わって神奈川に戻った弟から手紙が届いていました。

「ずっと家族と一緒にだったから気づかなかったけど、少しでも離れたらさみしい。お姉ちゃん、来年には大学行くために家出るんでしょ。今のうちに家族を大切にしたいよ。俺はもっと大事に大切にしておくべきだったなって後悔してる。お姉ちゃん、お母さんと仲良く大切に!!」

と書かれていました。読んで気づきました。家族以上に大切なものはない。宝物だということ。母にはたくさん迷惑をかけてきたということ。本当に大切なものを弟が教えてくれました。

私は大阪にある大学に通うため来年に家から離れます。今まで父と母のたくさん愛情と弟二人からのたくさんパワーをもらってここまで育ってこれました。

家元を離れた弟は偉大です。私は家族を絶対に幸せにしたいと思いました。